

県内学級担任紹介

教育実践が優秀で熱心に子どもたちの指導に当たっている学級担任を紹介します。
また、学校での実践や授業で活用できる工夫を併せて紹介します。

学校名： 大多喜町立大多喜小学校



担任名： ^{わやま たかゆき}
和山 孝行

教員経験： 10年（令和4年5月1日現在）

- ・マイクロソフト認定教育イノベーター2021-2022
- ・令和4年度 授業づくりコーディネーター【ICT活用】

課題解決に向けた協働学習

ICTを活用することで、課題解決に向けた情報共有を行うことができます。自分の課題を整理したり、友達の課題と比較したりすることで、自身の課題解決に繋げることができます。

①解決できた課題

学習の過程で課題を発見し、解決できたこと。

②解決方法

どのような方法で解決することができたか。

③まだ解決できていない課題

現在も課題が解決できず、困っていること。

上記の①～③を共有した後、友達の「まだ解決できていない課題」に対して解決方法をアドバイスするよう指示します。児童は友達からのアドバイスのコメントをもとに、課題解決に向けて取り組むことができるようになります。

学級経営で取り組んでいることは？

社会で生きていくために必要な資質・能力を育むために、学校の生活や学習において、日常的にタブレット端末の活用場面を児童自身に選択・判断させるようにしています。

授業で心掛けていること

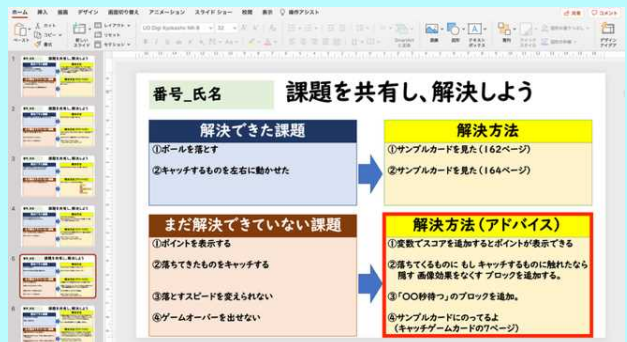
「主体的・対話的で深い学び」を実現するために、ICT機器を活用して視覚的に課題を捉えさせるようにしています。主体的に取り組むことができる授業づくりを心掛けています。

私の好きな「こ・と・ば」

「チャレンジ」です。何事も挑戦することが大切だと思っています！まずはやってみる！

協働学習ワークシートの作成方法

プレゼンテーションアプリを活用し、ワークシートスライドを児童数分作成します（図1）。その後、友達と課題を共有したり、アドバイスをしたりする協働学習ができるよう、作成したファイルをクラウドストレージにアップロードします。



(図1) ワークシートスライドの例

お問い合わせ先
企画管理部教育政策課
電話043-223-4015